

せたな町立国保病院建設事業 基本構想・計画【概要版】

はじめに 基本構想・基本計画策定の経緯

せたな町立国保病院は建設から48年が経過し、施設の老朽化が著しく、診療及び療養環境への影響も懸念される状況にあることから、抜本的な更新を行う時期を迎えています。人口減少や高齢化が進むなか、せたな町立国保病院を取り巻く医療環境(診療報酬改定等の動向を含む)に即した病院機能のあり方や方向性を検討するとともに、建築の整備内容と建替え方針を整理するため、基本構想及び基本計画を策定することとしました。

1 セタナ町立国保病院の現状

(1) 病院概要

○病床数 60 床 (一般病床)

○届出診療科 8 科

○施設の状況

- 建物延床面積 : 4,313 m²
- 建築年 : 昭和 49 年

○主な公的指定

- 救急告示病院
- 労災保険指定医療機関
- 生活保護法指定医療機関
- 結核予防法指定医療機関
- 指定自立支援医療機関

近年の取組

平成 29 年 3 月	「新せたな町立国保病院改革プラン」策定 (期間 平成 29 年度～令和2年度)
平成 29 年 10 月	療養病棟を休止し一般病床 60 床に1元化
平成 30 年 5 月	総合診療と予約制の導入
平成 30 年 11 月	電子カルテ・オーダーリングシステム導入
平成 31 年 4 月	訪問看護ステーション再開
令和 2 年 6 月	療養病棟を廃止し一般病床 60 床へ
令和 3 年 2 月	地域包括ケア病床を設置
令和 5 年 3 月	経営強化プラン策定(策定作業中)

2 新病院整備の基本方針

せたな町立国保病院は、現在の医療機能を再編したうえで、次に掲げる役割等を実現できる新病院を目指します。

(1) 新病院に期待される役割

① 地域密着型病院として、かかりつけ医・救急対応など、地域住民の医療需要に応える

② 地域包括ケアシステムの中心的役割を担い、医療と介護の連携に貢献する

③ 2次救急医療機関との連携と機能分担を図り、地域医療の向上に寄与する

せたな町の医療を提供する地域密着型病院

医療政策・社会の変化に対応する病院

町民の安心を医療面から支える病院

持続的な健全経営を実現できる病院

職員が誇りとやりがいを持ち働きやすい病院

(2) 新病院の重点機能

目指す病院像を実現するために、新病院が果たす主な機能は以下のとおり。

○重点機能（新病院において特に強化する機能） ①救急医療 ②医療・介護の連携 ③在宅医療
○政策医療への対応（公立病院としての役割） ①糖尿病 ②感染症対策(新興感染症への対応) ③地域連携
○高齢者医療への対応 <ul style="list-style-type: none">1) 入退院支援の強化による受診支援体制の充実2) 回復期リハビリの充実3) 在宅医療の充実への貢献4) 療養病床を有する医療機関や老健・特養施設等、介護福祉機関との連携強化
○地域医療機関等との連携
○地域住民の健康増進、疾病予防への貢献

3 新病院建設に向けた検討経過・概要

(1) 検討経過

① せたな町医療等対策審議会（令和2年度第3回審議会～ 開催数12回）

せたな町立国保病院新病院建設基本構想	令和2年10月 諮問
	令和3年10月 答申
同上 基本計画	令和3年12月 諮問
	令和4年12月 答申

オブザーバー：道保健福祉部、八雲保健所、檜山振興局、せたな町議会

② せたな町議会医療体制・新病院建設調査委特別委員会（令和2年9月第1回～ 開催数8回）

せたな町医療等対策審議会の開催後に随時開催

(2) 病床機能・規模

地域密着型病院として、在宅復帰へ向けた回復期医療を中心に、初期救急対応に伴う一般病床を組み合わせながら、病床数は人口減少を見据えたダウンサイジングを基本的方向とするなど、地域医療構想との整合性を図りました。また、せたな町における病床機能の面でも、療養機能を中心とした医療法人財団明理会道南ロイヤル病院との棲み分けを図る内容としています。

基本構想段階

病床数	病床区分
39床～46床	一般病床 地域包括ケア病床



基本計画

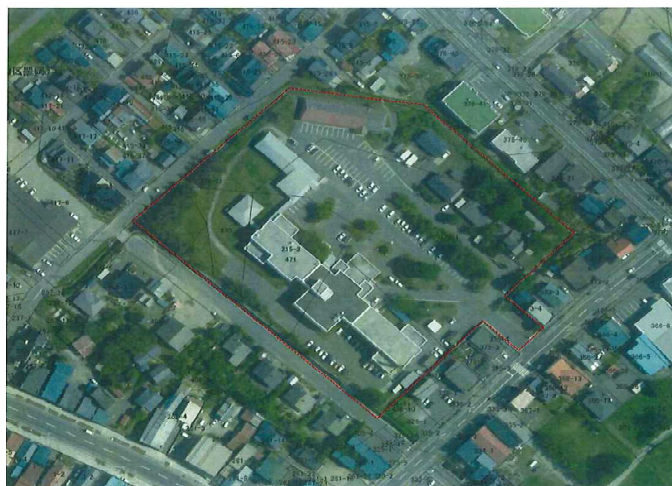
病床数	病床区分
35床を基準	一般病床 地域包括ケア病床

(3) 標榜診療科

総合診療科を基本とする現在の考え方を新病院に引継いでいきます。標榜については、外科、小児科、婦人科の見直しを行い、発熱外来の設置に伴い瀬棚診療所へ移設した眼科を集約したほか、新たに神経内科を加えました。圏域内の病院との棲み分けや役割を明確にしなが、今後も医療環境の変化に応じて適宜見直しを図ります。

総合診療科	内科・整形外科・リハビリテーション科
専門外来	循環器内科・神経内科・眼科

(4) 建設地



所在地	北海道久遠郡せたな町北檜山区北檜山378番地
敷地面積	約20,300㎡
前面道路	道道矢淵東瀬棚停車場線 幅員16m
用途地域	第一種中高層住居専用地域
指定建ぺい率	60%
指定容積率	200%
防火地域	指定なし（法22条指定地域）
高度地区指定	指定なし
日影規制	指定なし

せたな町医療等対策審議会において、都市計画法など関連法との整合性や、地域住民の利便性及びコンパクトシティの推進などを踏まえ、町有地3箇所と比較検討した結果、「洪水浸水対策を十分講じる必要があるものの、現病院敷地が総合的に見て妥当である」と判断されています。

(5) 概算事業費

事業費については、26億円程度と見込まれていますが、人件費や資材、燃料の高騰など、建設コストは上昇を続けており、建設コストの変動は事業費に与える影響が大きく、その後の収支計画にも影響を及ぼすことから、動向を注視することとします。

財源	病院事業債・過疎債・関連補助金等
----	------------------